



三年生 朗報が次々と・・・合格の知らせに喜びいっぱいです おめでとうございます・

寒い日が続いています。一年で一番寒い時期ですので、体調管理には十分気をつけて生活して下さい。

3年生は先週から、私立や国立の高等学校入試に挑んでいる人が多くおります。そして今週は各自に朗報が次々と届いてきました。本当におめでとうございます。合格通知を手喜びいっばいの笑顔は、まさに至福の時そのものです。また、これから県立学校の入試に挑戦する生徒には、論文指導や面接の指導をしています。生徒一人一人には、進学後の希望や将来へのいろんな夢があります。まず、行きたい学校へ合格することです。きっと素敵な春が3年生を待っています。がんばれ！

人はうれしいことや目的を達成したとき、「感謝する気持ち」がいつもより膨れてきます。この心の膨れが一層人を大きくしていくような気がします。合格を一つの節目にして、いろんな人に感謝しながら、より成長させたいと思います。3年生は、まさにラストスパートです。インフルエンザや風邪、そして怪我に注意し、意義のある2ヶ月にしてほしいと思います。



蓬中ギャラリー

題「絵」 3年 小林晴香

「この作品は、この絵を描く前に、いくつか描いたものを、すべてまとめたものです。今の自分が思うイメージを一つ一つ違った形で表しています。絵の中で模様が入っていない部分は、これから持つであろう様々なイメージを描くためのスペースです。私はこれから、自分のイメージできる範囲を大きくしていきたいと思っています。(作品は校長室前に掲示してあります。)

インフルエンザ下火に・・・

先週より本校2年生を中心に襲いかかっていたインフルエンザも、少しずつ衰えてきました。しかし、いつ感染が広がるか分からない状況です。うがい・手洗い等励行して下さい。学校でも、机やトイレの消毒を毎日しています。家庭でも十分配慮下さい。みんなでやらないと意味がありません。がんばりましょう。

タレントの「セイン・カミュ」の子育てについての考え方が以前新聞にありました。参考にしていきたいものですね。

5年ほど前までは、日本は物理的に子連れで出かけにくい国だと感じていました。駅エレベーターがなく、ベビーカーを押して動きにくい。事前に各駅の様子を調べて、どう動くのがいかに考えてましたね。

最近では、ずいぶんましになった気がします。最近、パリ・アフリカの考えが広まったからでしょう。子連れにも、障害者にも優しい街が増えた。僕には8歳の長男、6歳の次男、3歳の長女の3人の子ともがいます。3人を連れ出すのは一苦労ですが、預ける先もないので、ほとんど外出しています。

夕食先としては、レストランや焼き肉店には行きますが、居酒屋には行きませんね。アルコールやたばこがある空間に子どもを置くのは抵抗があるからです。夜は大人の時間だとの考えもある。日本人の親よりも保守的な考えかもしれませんが、それが僕の子連れマナーです。

あと日本で気になることは、日本の親があんまり子どもをしからないこと。特に電車など公共の場で、目にするのがほとんどない。

西洋では、子どもがふざけていると、バシッとしゃべります。子どもって、その場で言わないとすぐに忘れてしまう。その瞬間に言わないとダメな

タレント

セイン・カミュさん



70年、米ニューヨーク州生まれ。90年から日本でタレント活動開始。3月に東京で開催の「外国人のための狂言会」に出演予定。
＝麻生健撮影

しかるときはバシッと

世のお父さんたちには、ぜひ自己流の「ダディ・ウェイ」で、育児をして欲しい。ちょっとやり方が雑でも、時間がかかって構わない。ママたちも、パパたちのやり方を理解して、温かく見守るんです。そうしたら、パパも次第に自信を持って、きつともってやってくれると思いますよ。

（聞き手・高野真喜）

◇今回は7日に掲載します。

上記の記事で気になった所（横線）が3ヶ所ありました。私たちはどうでしょうか？

- 1 アルコールやたばこがある空間に子どもを置くのは抵抗がある。
- 2 日本の親で気になることは、親があんまり子どもをしからないこと。子どもってその場で言わないとすぐに忘れてしまう
- 3 育児の楽しさを知らないのはもったいないですよ。（自分も）人間として成長できるからです。（いかがですか？）

